



就活応援通信 epi.19

本当にあった転職失敗あるある

本当は怖い転職活動…!?

中高年の転職活動で急いで仕事を仕損じるといふ故事通り、転職に失敗してしまった方もいます。今回は、よくある失敗要因をご紹介します。転職活動を成功へ導くために、参考にして下さい。



★職場環境が思ったよりひどい状況

財務体質が悪い、離職率が高い、残業が多い、雑然とした環境等、入社して初めて明らかになることがあります。これらの原因の多くは、面接で遠慮して質問を控えてしまったためです。面接時に確認が大事!

★年収が前職より低くなってしまった!

転職した初年度は、賞与が通常より出ません。更に前年度年収を基にした納税があり。特に早期退職や会社都合で先に退職した場合、焦って「どこでもいいや!」と転職を決めてしまった結果、ローンや今後の生活費が追い付かず、結局また転職活動をすることに。収支は予めしっかり試算しておくこと。

★職務が変わり、予想外の負担が増えてしまった

業務範囲や業務ボリュームを事前に把握することも大切です。特に異業種では慣れない仕事なので心身に負担がかかるケースも。取り扱う件数や金額、スタッフの人数や能力など、実際に業務に取組んだ時のイメージができるように正確な数字をリサーチしておきましょう。

★社長の考え方が合わない

経営者も人間ですから、様々な側面があり、1時間前後の面接では普段の姿が見えないこともあります。そのため、入社してから「こんな人だったなんて」と幻滅してしまうケースも起こり得ます。転職活動中は、ご自身が社長や企業を選ぶつもりで判断する事。



★転職の決め手になった人が退職。モチベーション低下

転職先を決めた理由に、「この人と一緒に働きたい」という魅力的な人がいたときの失敗事例です。早々にその方が退職してしまった場合、働く意欲が削がれることにもなりかねません。転職の決め手は1つではなく、様々な要素を見極めましょう。

《まとめ》

★転職失敗事例パターン

- 1 事前に把握できていなかったパターン
- 2 焦って決めたパターン
- 3 環境が変わるパターン

50代以上の転職活動では、これまでのご経験を活かして選考ではあらゆる角度から細かい質問を重ね、応募した企業がどのような会社なのか見極めることが大事!

